



令和 8 年 9 月 30 日現在

農福連携×植物工場で育む未来の野菜づくり

両備ホールディングス株式会社「倉敷グリーンパーク」(倉敷市日畑46-7)
TEL : 086-436-8021 / URL : <https://ryobi-agri-wellness.jp/>



経営概要

経営面積	植物工場 約300㎡、ビニールハウス水耕栽培 約100㎡
主な業務	農産物の生産（レタス、ベビーリーフ、ハーブ等）、加工品販売
労働力	正社員 4 名、パート 5 名、障がい者雇用 8 名
取組の経緯	両備ホールディングス株式会社の植物工場事業は、2011年4月に岡山市北区京山で開始。施設の老朽化や衛生面の課題、通勤の利便性などを踏まえて、2025年6月に倉敷市へ移転し、「倉敷グリーンパーク」として操業を開始。また、移転を機に、植物工場での野菜の生産・加工作業を、特例子会社である両備アグリウェルネス株式会社（就労継続支援A型事業所）に委託し、障がいのあるスタッフが作業に従事している。



取組内容

通年安定生産、徹底した品質管理	・植物工場の室内水耕栽培で通年生産が可能であり、温度、光、肥料などをコントロールし、農薬を使わずにそれぞれの野菜が持つ味、香りを引き出すことにこだわっている。 ・除菌フィルターの設置や培養液の定期交換により、安定した品質と生産サイクルを維持している。また、水質や塩素濃度、温度を記録するとともに、製品の微生物検査を月 1 回、水質検査を年 2 回実施するなど、徹底した品質管理に取り組んでいる。
農福連携の取組	・年間を通じて、室温が25度、生産量が一定のため、同じ作業を継続して行うことが可能。播種、定植、収穫、袋詰め、カット加工の作業工程において、障がい者の特性に応じて作業を割り当てている。 ・植物工場には、スロープやユニバーサルトイレを備えており、働きやすい環境を整えている。
水耕ブランド野菜「Ortolano（オルトラノ）」	・国内大手航空会社にファーストクラス用の食材として納入している「ファーストクラスカットサラダ」をはじめ、栽培期間中農薬不使用、室内水耕栽培のブランド野菜「Ortolano（オルトラノ）」を販売。また、自社栽培の野菜に合うように開発された、バジルドレッシングやバジルソルトなども販売。



今後の展望

- ◆レタス類にとどまらず、パプリカなどの新たな品目の栽培に挑戦。
- ◆太陽光型ハウスの整備による環境負荷・エネルギーコストの低減に取り組む。



植物工場の栽培パネルと作業の様子



水耕ブランド野菜「Ortolano(オルトラノ)」